

平成31年度 学校経営方針

甲府市立北西中学校
校長 松田 昌樹

<学校教育目標>

心豊かで かしこく たくましい生徒の育成

<生徒像>

- 思い遣る心を持つ生徒
- 意欲的に学ぶ生徒
- 心身ともに健康な体をつくる生徒

<学校像>

- 温かくやさしい心を育てる学校
- 豊かな感性を持ち感動のできる心を育てる学校
- 命を大切にし平和と共生の心を育てる学校
- 楽しく学び合う学習を展開する学校
- 一人一人の善さや可能性を伸ばす学校
- 楽しく体力づくりができる学校

☆《重点目標》他の人のために努力できる生徒

☆《教育指針》「北西アクティブ～共に学び、共に育ち、共に生きる」

頭・体・命・心・周り(あかいこま)のバランスのとれた豊かな教育活動の推進

◆「周り」

人間関係形成力を育む・良い集団を作ることが一人ひとりの成長につながる

<学校経営の基本方針>

(1) **北西中教育の伝統を継承しつつ、創意ある教育課程の編成と実施に努める。**

◆学校関係者評価(学校評議員)より

平成31年度努力点 合唱・挨拶・小中連携

「思い遣る心」を育てる継続した教育活動(合唱タイム、朝読書、挨拶運動、親子道徳、地域奉仕活動等)、道徳科と他教科・総合・特別活動の関連を意識した取組の実践 学校評価を活用した改善

(2) **学習指導の工夫・改善に努め、学び合う学習集団の育成に努める。**

◆主体的・対話的で深い学びの実践

確実に定着すべき内容はしっかり教える

思考力や表現力を高めるような授業実践にもチャレンジする

◆甲府スタイルの授業実践

見通しと振り返り 板書とノート指導の連動 課題提示の工夫

◆家庭学習の定着

山梨県・甲府市の子どもの課題(教員の指導の課題) 自主学習ノートへの取組

(3) **愛情と信頼に基づく生徒指導に努め、思い遣る心の育成に努める。**

発達段階や特性に応じた指導・支援、適切ないじめ対応・不登校対応

◆不登校生徒への支援

最終的には学校復帰を願いながらも、実態に応じた支援

関係を切らない 学校として可能な支援や評価について保護者との共通理解

◆いじめ問題への対応

積極的認知と保護者への状況説明・共通理解

*学校における危機管理 さしすせそ

最悪を想定し・慎重に・素早く・誠意を持って・組織で対応

*3つの「か」

軽く考えない・隠さない・抱え込まない

(4) **健康・安全教育の充実と体育・スポーツの推進に努める。**

◆専門家を招いた健康教育、防災教育の講演会の実施

◆想定を工夫した実践的な避難訓練

◆体育授業や体育的行事、部活動等でのバランスを意識した体力づくり

「部活動基本方針」に基づいた活動計画の確認と適切な実施

※部休日週2、大会等休日連続の際別に部休日設定、月計画提出

(5) **特別支援教育の理念を全職員で共有し、一人ひとりの生徒に目をむけ、個に応じた教育活動の推進に努める。**

- ◆ 合理的配慮（障がいの理解と教育）
- ◆ 「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」の作成と実践
きめ細かで丁寧な寄り添い（伴走）

(6) **地域社会・家庭との連携を深め、信頼される学校教育の確立に努める。**

- ◆ 「家庭・地域との連携」「学校評価の活用」「情報発信」の取組の実施
- ◆ 「小中連携」・・・小中連携の取組の継続、小中合同研究会の実施

(7) **教職員間の和を大切にしつつ、各自の役割と責任の遂行に努める。**
チームとしての共通理解と迅速で丁寧な対応 「同僚性」を高める

<学校経営の努力点>

(1) **基礎学力の充実を図り、自ら学ぶ力を育てる教育の推進**

- ・ 個に応じた指導の工夫と、基礎・基本の確実な定着
- ・ 思考力・判断力・表現力等を育成する授業の創造
- ・ 確かな教材研究に基づく授業の実施
- ・ 家庭学習の定着を目指した指導・支援の工夫
- ・ 教職員の資質向上と研修体制の確立

(2) **思い遣る心を基調としたふれあいを通し、生きる力の育成と、自己を生かす実践活動の推進**

- ・ いじめ・不登校等への積極的な対応と適切な支援
- ・ 道徳教育の充実と実践力の育成、人間愛を育む教育活動の推進
- ・ 励まし、高め合える生徒会活動の推進
- ・ 施設への訪問・交流などのボランティア活動の実践
- ・ 健康、安全に関する取組や体力づくりの推進

(3) **情操豊かな生徒の育成**

- ・ 朝読書・読み聞かせの継続と工夫
- ・ 各種行事や勤労、奉仕等の体験活動を通じた豊かな感性の育成
- ・ 合唱団活動の推進と合唱活動の充実
- ・ 挨拶活動の推進（生徒会活動、PTA活動等との連動）
- ・ 教育環境の整備と充実

(4) **開かれた学校をめざし、地域・家庭との連携を強化した教育活動の推進**

- ・ 学校評価等を活用したカリキュラム・マネジメントの推進
- ・ 「親子道徳」・「声かけ挨拶運動」・「地域奉仕活動」の継続実施
- ・ 家庭訪問や保護者との面談、各種通信やHP等を通じた情報発信
- ・ 地域人材の活用や地域と連携した体験活動の実践
- ・ 学区小学校との連携による連続性と一貫性のある指導の推進

<大切にしたいこと>

- 集団の雰囲気（子どもひとりひとりの成長のため・職員組織の力）
- 非認知能力（我慢する力・がんばる力・折り合いをつける・・・）の育成
- 種をまき・頑張らせ・褒めて育てる
- 教員として子どもの成長に責任をもつ